

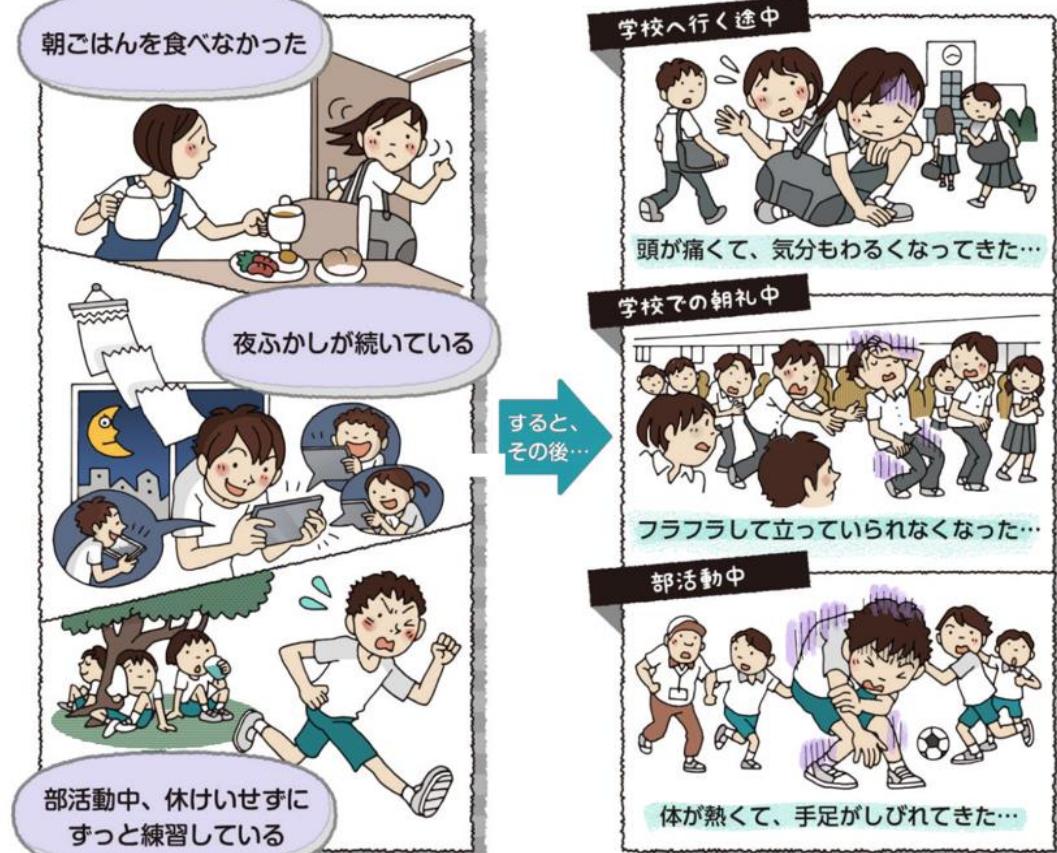
ほけんだより

寝屋川市立友呂岐中学校 保健室 令和5年7月19日

あと少しで夏休みが始まります。先週くらいからセミも鳴き始めて、暑さが本格的になってきました。暑くなると心配になるのが熱中症です。動かなくても汗が滝のように流れてくるこの季節、屋外で運動をしている人は特に気をつけてほしいと思います。「運動前と運動中のこまめな水分補給」、「体調が悪い時は無理をしない」、「ご飯を3食しっかり食べる」、「睡眠不足にならないようしっかり寝る」、生活リズムを整えて、この夏を乗り切りましょう！



こんな人は熱中症になりやすい!?



熱中症を防ぐコツ

朝ごはん

朝ごはんは、熱中症予防に必要な水分や塩分をとれる大切な機会。どちらも補えるおみそ汁がおすすめです。

睡眠

寝不足だと熱中症を起こしやすくなります。特に暑い日は体力を消耗するので、普段から十分睡眠をとっておきましょう。

休けいと水分補給

外で運動するときは30分に1回は涼しい場所で休けいを。水分補給も忘れずに！

たくさん汗をかくときは、塩分も入っているスポーツドリンクを飲みましょう

熱中症重症度と対応

軽症	中等症	重症
<p>めまい、立ちくらみ、生あくび、筋肉痛、こむら返り ※意識ははっきりしている</p> <p>水分・塩分をとらせ、様子を見守る</p> <p>重症度にかかわらず、涼しい場所に寝かせて体を冷やします。</p>	<p>頭痛、吐き気・嘔吐、体のだるさ、判断力の低下</p> <p>自力で水が飲めないときは119番</p>	<p>意識がない、受け答えがおかしい、けいれん発作</p> <p>ただちに119番</p>

**3 キケン！
水分・塩分不足**

運動中は、汗で急速に水分・塩分が失われていきます。激しい運動をすると、1時間で2Lもの汗をかくこともあります。

運動する前から、水分・塩分を補給しましょう。
運動中も、スポーツドリンクなどをすぐ近くに置いておき、必ず30分に1回は補給することが大切です。

**こんなときは
水分補給**



「のどが渇いた」と思う前に、こまめに水分をとりましょう。

「熱中症警戒アラート」を活用しよう！

熱中症の危険が高いと予想される日の前日の夕方、または当日の朝に、都道府県ごとに「熱中症アラート」が発表されます。環境省のLINEアカウントを登録しておくと、情報をLINEで受け取ることができるのです。



環境省の
LINEアカウント